

様式第4号(表) (第54条関係)

年 月 日

石神井消防署長 殿

住 所
申告者 職業(職) 電話
氏 名

不 動 産 り 災 申 告 書

1	り 災 年 月 日		年 月 日		り 災 物 件 と 申 告 者 と の 関 係	所有者・管理者・占有者
	り 災 場 所		東京都 練馬 区 丁目 番 号			
2	建築・購入年月 推定・記録・記憶		建 築 又 は 購 入 金 額 推定・記録・記憶・不明			
	明治 大正 昭和 平成 年 月	1 m ² (坪) 当たりの金額 (円)			総金額 (円)	
3	取 得 後 の 経 過					
	修 繕 ・ 改 築	年 月	修繕・改築した箇所		修繕・改築に要した金額 (円)	
		明治 大正 昭和 平成 年 月				
	増 築	年 月	増築の概要		増築面積 (m ²)	
		明治 大正 昭和 平成 年 月				
4	り 災 前 の 建 物 詳 細					
	建物の用途		屋 根	外 壁	階 数	延べ面積 (m ²)
	居住世帯数		世 帯		居 住 人 員	人
5	建 物 ・ 収 容 物 以 外 の り 災 状 況					
	り 災 物 件 名		り 災 の 別	数量又は面積	経過年数	
			焼・爆・他		年	
			焼・爆・他		年	
			焼・爆・他		年	
6	火 災 保 険 の 契 約					
	契約会社名		契約年月		保険金額 (万円)	

不動産り災申告書記載要領

（1の欄）

り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

（2の欄）

- 1 建築、購入年月、金額の欄は、記録（帳簿や契約書など）によって明らかなものなのか、推定によるものかなど、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた1㎡当たりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

（3の欄）

- 1 取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築、又は増築があった場合に記入してください。
- 2 修繕・改築・増築の欄は、いつ、どこ部分を、どのくらい（㎡）、修繕、改築、増築し、いくら（金額）かかったかを記入してください。

	年 月	修繕等した箇所	金 額
例) 改築	平成2年8月	1階事務所部分 30㎡	3,532,500 円
例) 増築	昭和59年4月	2階住宅 20㎡	1,520,000 円

（4の欄）

- 1 り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。

	用 途	屋 根	外 壁	階 数	延べ面積
例)	住 宅	日本瓦	モルタル	2階建	75㎡
例)	店舗・住宅	亜鉛鉄板	石綿セメント板	3階建	135㎡

- 2 居住世帯数・居住人員の欄は、建物内すべてに居住する世帯と人員を記入してください。

（5の欄）

- 1 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。
- 2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
 - 1 焼：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融、又は破損したものなど
 - 2 爆：爆発により、壊れたものなど
 - 3 他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す時に壊れたものなど

（6の欄）

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備 考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 6 この申告書でわからないことがありましたら、下記消防署までご連絡ください。

危険物係

石 神 井 消 防 署

出張所

電 話 03-3995-0119 内線610